

あつぎ気候市民会議展開事業 2024



環境政策課



事業目的

地球温暖化対策は待ったなしの緊急課題
全ての人が関係者
市民の参加で推進加速を！

2023年度「あつぎ気候市民会議」
少なくとも厚木市カーボンニュートラルロードマップ達成のため
「脱炭素市民アクションプラン」を提出

アクションプランからアクションへ
カーボンニュートラルあつぎ未来プロジェクト
アクションプランの普及・アクションの支援・進捗評価と見える化

行動変容、社会の仕組み・価値観・常識 の大転換

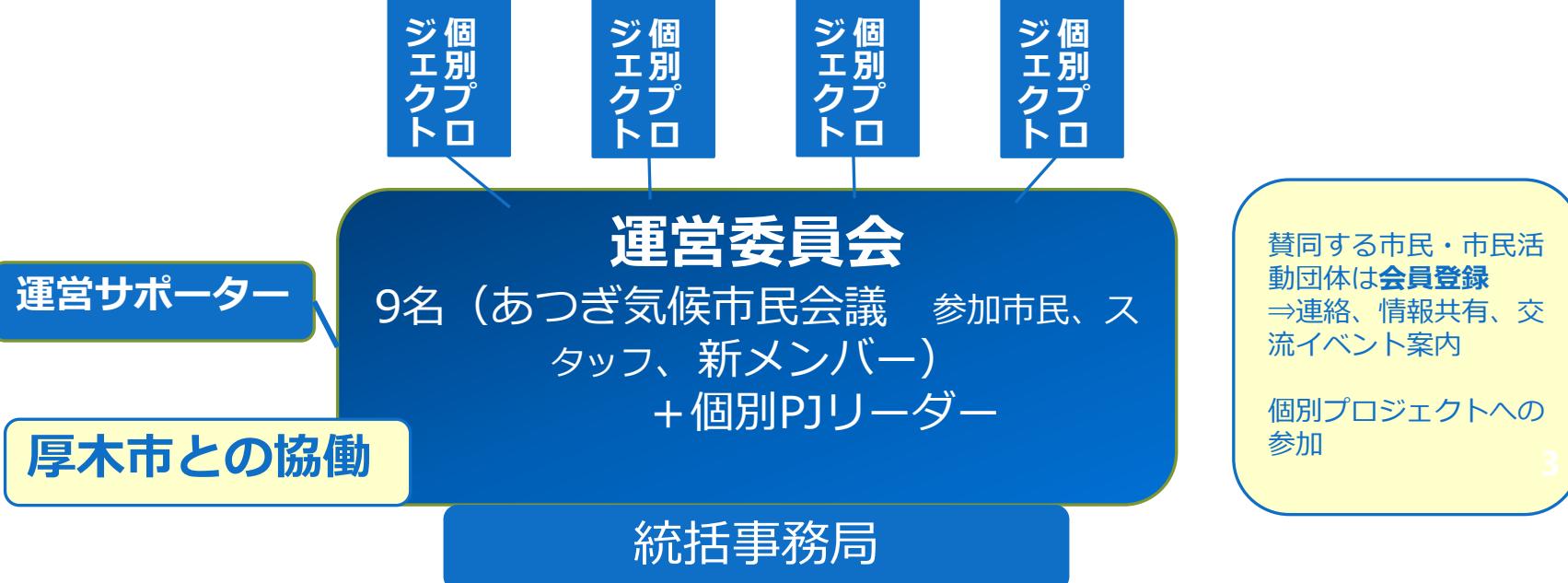
気候危機回避
豊かで暮らしやすい未来

事業内容・成果



市民と市が協働で連携して脱炭素アクションプランを実践
脱炭素社会を実現しよう

カーボンニュートラルあつぎ未来プロジェクト





主な普及啓発活動

時期	内容
4月	自治会～全家庭向け回覧 あつぎ気候市民会議パンフレット (約8000部)
5月	緑のまつり パンフレット配布、来場者アンケート調査
7月	子ども向け 気候変動かるたワークショップ
8月～9月	公民館8館での説明会 厚木南公民館、小鮎公民館、南毛利公民館、相川公民館、荻野公民館、愛甲公民館、緑ヶ丘公民館、森の里公民館
9月23日	SDGs フェスティバル 展示と気候変動かるた
11月10日	CNあつぎ未来PJまつり 江守正多さん講演、個別PJ紹介、交流
2月	さがみ自然フォーラム 展示と活動紹介プレゼンテーション
3月16日	太陽光・断熱 補助金活用セミナー 講演：高橋真樹さん、真鍋航輝さん、環境政策課、CNあつぎ未来PJスタッフ
3月	市民向け脱炭素アクションプラン解説漫画「ナンデちゃんのなるほど！カーボンニュートラル」制作への協力

個別プロジェクト一覧

(2025年3月現在)



プロジェクト名	内容概略
Web広報	HP、公式Line、インスタグラム
学生の脱炭素活動チーム支援	アクションプラン始動する学生チーム編成支援、交流拡大
子中保育園 環境教育	脱炭素あつぎイラスト活用～保育園児の気候変動への関心 「かながわ脱炭素大賞 ユース・未来部門 受賞」
農福学連携・農産物地産地消	農福学連携で、農産物地産地消・脱炭素、地域活性化推進
あつぎ地産地消・オーガニック給食	脱炭素につながる農産物の地産地消、学校給食への採り入れを進めて、食・農を大切にする価値観の醸成
再エネ導入促進、地域エネルギーマネジメント構築	再エネ導入口ードマップ目標値を達成させる。エネルギー地産地消、地域内マネジメントに必要な道筋の学習など。
小水力発電所建設	発電事業の調査研究から事業化へ
既存住宅断熱リフォーム推進	自宅で実施、断熱効果計測、補助金活用アドバイスで普及拡大

収支決算

項目	決算額	内容
収入	市負担金	900,000
	団体負担金	100,050 自己資金のみ 100,050
	合計	1,000,050
支出 (支援対象経費) (支援対象外)	報償費	676,941 講師謝金、講師交通費、協力者謝金、デザイン制作委託料
	人件費	90,000 主催者役員人件費
	消耗品費	32,962 文具、事務用品費
	印刷製本費	51,760 イベントチラシ印刷費、イベント資料印刷費
	使用量及び賃借料	72,266 会議室、駐車場料金、上映映画借用量
	通信運搬費	63,111 郵送費、通信費、Zoom契約料、WiFiレンタル費
	食糧費	2,000 講師昼食費
	小計	989,040
	食糧費	11,010 イベントお菓子代
	支出合計	1,000,050

市民向け「脱炭素市民アクションプラン」解説漫画制作協力



環境政策課の企画した市民向け解説パンフレットを、漫画スタイルにすることで協力

「ナンデちゃんのなるほど! カーボンニュートラル」
全13ページ

個別プロジェクト・イベント写真



子中保育園PJ



CNあつぎ未来PJまつり

地産地消・オーガニック
給食プロジェクト

APとの関係:第4章（2）（4）（6）

厚木市の学校給食に地産地消の食材、脱炭素に繋がる農を支える食材の取り入れを目指します！

誰にでも関係のある「食・農」を切り口にして、脱炭素の関係について学ぶ機会や映画上映会などの企画、活動に興味のある人の交流の場をつくります。

【企画①】2024.07.03 シティプラザ厚木
上映会「WE ARE WHAT WE EAT
食べることは生きること
～アリスト・ウォータースのおいしい革命～」

参加者 110名(スタッフ含む)

チーム構成: 5名+企画2名

◀詳しい活動内容、
今後の活動は
こちら！
企画②お楽しみに！

QRコード: www.hikoshi-shokuhin.jp

オーガニック給食PJ



子中保育園
かながわ脱炭素大賞授賞式



断熱・再エネ補助金活用セミナー



農福学連携PJ

再エネ・省エネプロジェクトとセミナー

再エネ普及・地域エネルギー マネジメント構築プロジェクト

「厚木市カーボンニュートラルロードマップ」
を実現させよう！ 市民の相談にのります

必要な再生可能エネルギー導入量は？

2050年度までに太陽光発電400MWの導入が必要です。



設置場所	既設	新設	合計
事業所	10	65.5	75.5
家庭	19.5	20	39.5
土地(油井地等)	14	31	45
合計	43.5	116.5	160

2030年度の目標達成には、現状の3.7倍の設置が必要！

まずは2030年までに110MW増やす
戸建住宅4万軒のうち1万軒にソーラーを

あなたのお住まいをもっと豊かにする
お得 快適 太陽光・断熱 補助金活用セミナー
厚木市市民協議会提案事業

【日時】**3月16日(日) 13:30~16:00**
アリーナあつぎ
7F セミナールーム
【料金】**参加無料**
【セミナーテーマ】**厚木市の再エネ・省エネ補助金で豊かに暮らす**

【講師】
高橋真樹さん
ノンフィクションライター
放送大学非常勤講師
持続可能性テーマに、園芸・エネルギー分野などで、田村・篠巣・調査を行なう。エコワークに取り組む会員が約170名の「断熱ジャーナリスト」がある。著書に『「断熱」が日本を救う 節能・減災・省エネの力』(集英社新書)がある。

【講師】
真鍋航輝さん
ハチリリーラー株式会社
セールスマネージャー
「自然エネルギーが主導的未来を拓く」というミッションのもと、太陽光発電の普及と推進。初音階門内で運営可能な太陽光発電サービスを開発。安心のサポートプランを提供しており、自体から認定プランとして選出されるなど、高い信頼性を持っています。

【プログラム】
13:30 開会
・補助金の説明(厚木市環境政策課)
13:45 「断熱で快適・お手な省エネ」
・高橋真樹さん 講演
・断熱リフォーム 補助金活用実績紹介
・断熱について質疑応答
15:15 「0円ソーラーでお得な再エネ」
・真鍋航輝さん 講演
・太陽光発電 厚木市での実績紹介
・太陽光発電について質疑応答
16:00 閉会
終了後、希望者は個別相談も対応します

定員60名(先着順)ご参加にはお申込みが必要です。右の二次元コードを読み取りWebフォームにご入力ください。
【お問合せ】080-1010-4759(遠藤) cnpn_info@ikoshiminkai.atsugi-shiminhousudensho.net
【主催】厚木市一般社団法人あつぎ市民発電所 【実施主体】カーボンニュートラルあつぎ未来プロジェクト

地域新電力で、地域の再エネを地域内で消費、
地域内でエネルギーもお金も循環
災害に強く、地域課題の解決
厚木での実現に向けた道筋を描き活動開始しよう

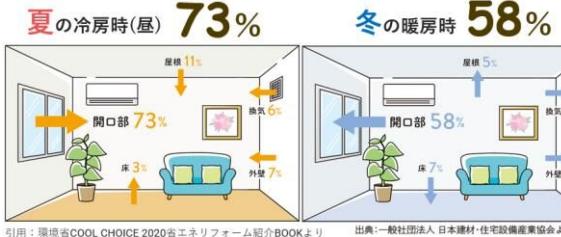
小水力発電所建設プロジェクト

2030年頃までに市内河川で小水力発電所をつくろう！
地域強靭化、エネルギー地産地消、
地域理解と裨益



省エネ普及・既存住宅断熱リフォーム推進プロジェクト

窓の断熱リフォームやってみました
健康・快適・そして光熱費削減！



既存のアルミサッシ窓の内側に
「内窓」をつける
国と神奈川県と厚木市の補助金で、この実施例では9割近くも出る！
自己負担は1割程度 + 消費税

内窓工事補助金活用実施例

工事金額	内窓1	67,200
	内窓3	107,850
	内窓5	53,850
	内窓7	107,100
	材料費合計	335,750
	労務費	80,000
	材料費合計+労務費	415,750
	諸経費	12,500
	合計(税抜)	428,250
国補助金申請額		211,000
神奈川県申請額	415750*1/3(千円未満切り捨て)	138,000
厚木市申請額	(415750-211000-138000)*1/2	33,750
補助金申請合計		382,750